

被災者支援に39万円

大垣西濃信金共済会、市に寄付

台風10号

大垣西濃信用金庫職員共済会は、台風10号で被災した大垣市民の支援や復興に役立ててもらおうと、39万2千円を市に寄付した。同金庫が岐阜、愛知両県に構える31店舗4出張所の職員から寄せられた善意。杉山博雅職員共済会長らが市役所を訪れ、石田仁市長に目録を手渡した。

杉山会長は「少しだが、大変な思いをしている人たちの助けになれば」と話し、石田市長は「職員の皆さんからの貴重な浄財。しっかりと活用させてもらおう」と感謝した。市は、市役所窓口や振り込みのほか、ふるさと納税ポータルサイトを通じて寄付を受け付けている。

(武藤直子)



石田仁市長に目録を手渡す杉山博雅職員共済会長(左)＝大垣市役所